

第3回 失神研究会

会期 平成24年7月8日（日）

会場 昭和大学 上條講堂
東京都品川区旗の台1-5-8
TEL 03-3784-8000

主催 失神研究会

第3回失神研究会
会長 住吉 正孝
順天堂大学医学部附属 練馬病院

第3回失神研究会のご挨拶

失神研究会も今回で3回目となり、ユニークな研究会として少しずつ認知されてきたようです。本邦でも植え込み型ループレコーダー（ILR）が失神の鑑別診断に有用であると認識され、日本循環器学会の失神ガイドラインも現在改訂中で近いうちに公表される予定です。また、ILRに引き続き、今年はチルト試験が保健適応となり、失神の診断も新たな局面を迎えようとしています。

さて、第3回失神研究会ですが、昨年を上回る20演題の応募をいただきました。応募いただきました各施設の先生方には心より感謝いたします。応募演題のうちILRに関連した4題をミニ・シンポジウムとしてILRの有用性と問題点を議論していただくことにしました。基調講演は新しい失神ガイドラインにおけるILRの適応について前回の会長、安部治彦先生にお願いしました。特別講演は2題予定しています。特別講演1は欧州における失神の第一人者であるイタリアのBrignole先生にSyncope Unitの有用性とその現状についてお話いただきます。特別講演2は横浜南共済病院の西崎光弘先生に冠攣縮と失神についてご講演いただきます。ICDの適応など、臨床医にとって非常に役立つ内容になると期待しております。

今回の日程ですが、従来この研究会は7月の第1土曜日に開催しておりましたが、2012年は7月5日（金）～7日（土）に第27回日本不整脈学会学術大会が横浜で開催されるため、7月8日の日曜日に開催することにいたしました。週をずらしての土曜日開催も検討しましたが、不整脈学会から参加される先生方も多いと予想されること、特に地方から参加される先生方の便宜を考慮してこの日程にいたしました。そのため午前中より始めて、午後は早めに終了するように配慮いたしました。先生方には貴重な日曜日を潰すこととなりますが、十分に満足いただける内容になると確信しております。

失神は救急科、循環器内科、神経内科、精神科・メンタルなど広い分野にまたがる病態です。本研究会が診療科の枠を超えて、各分野の専門家による討論の場になり、失神の病態生理の理解に貢献し、新たな研究の発信源になることを期待しています。

今年も熱いディスカッションをよろしくお願いいたします。

第3回失神研究会
会長 住吉 正孝

第3回失神研究会：プログラム

2012年7月8日（日）

9:00-9:05 開会挨拶

9:05-9:40 一般演題 1 (1-4) 神経反射性失神

座長：河野律子 産業医科大学循環器内科

中井俊子 日本大学医学部内科学系循環器内科学分野

9:40-10:15 一般演題 2 (5-8) 心原性失神・薬物

座長：戸叶隆司 順天堂大学医学部附属静岡病院循環器科

鈴木 昌 慶応義塾大学医学部救急医学

10:15-10:30 Break

10:30-10:55 一般演題 3 (9-11) 血行障害

座長：水牧功一 富山大学大学院医学薬学研究部内科学第二

東 祐圭 昭和大学藤が丘病院循環器内科

10:55-11:40 一般演題 4 (12-16) 失神の診断・検査

座長：高瀬凡平 防衛医科大学校集中治療部

阿部芳久 秋田県成人病医療センター循環器科

11:40-12:00 失神観察研究(SOS-Japan) 報告

小林洋一 昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門

12:05-12:55 特別講演 1 「冠攣縮と失神」

座長：住吉正孝 順天堂大学医学部附属練馬病院循環器内科

演者：西崎光弘 横浜南共済病院循環器センター

共催：第一三共株式会社、旭化成株式会社

13:00-14:00 ミニシンポジウム ILR の有用性と問題点について

座長：丹野 郁 昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門

野呂真人 東邦大学医療センター大橋病院循環器内科

コメンテーター：安部治彦 産業医科大学医学部不整脈先端治療学講座

13:00-13:10 基調講演「失神診断ガイドライン 2012」の解説

演者：安部治彦 産業医科大学医学部不整脈先端治療学講座

13:10-14:00 ILR に関する一般演題(17-20)・討論

14:00-14:50 特別講演 2「Syncope Unit の有用性」

座長：小林洋一 昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門

演者：Michele Brignole Ospedali del Tigullio

共催：旭化成株式会社

14:50-15:10 優秀演題表彰

15:10-15:15 閉会挨拶および次回開催案内

[会場ご案内]

＜J R 東京・品川駅方面またはJ R 新宿駅方面からお越しの場合＞

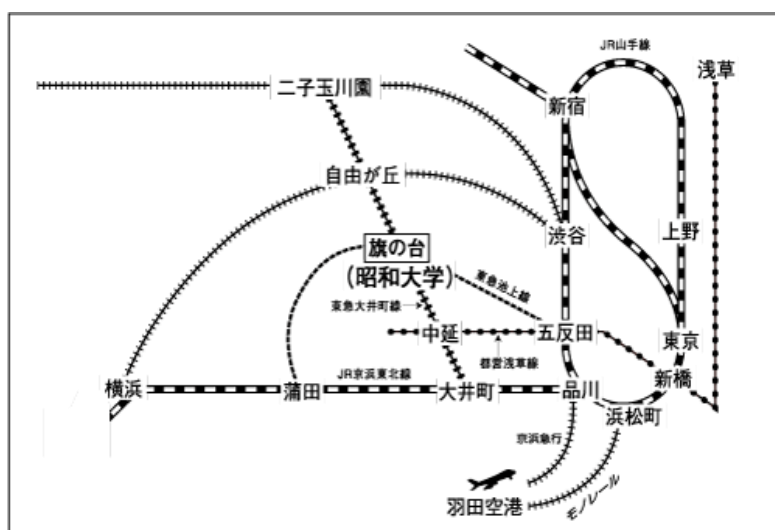
J R 山手線五反田駅にて東急池上線乗り換え、旗の台下車

＜J R 横浜・川崎駅方面からお越しの場合＞

J R 京浜東北線大井町駅にて東急大井町線乗り換え、旗の台下車

＜羽田空港よりお越しの場合＞

京浜急行羽田駅より、品川にて、J R 山手線乗り換え後、
J R 五反田駅にて、東急線乗り換え、旗の台下車



東急池上線・大井町線 旗の台駅東口下車 徒歩5分

都心からお越しの場合は JR 五反田乗換→池上線

または JR 大井町乗換→大井町線

東急池上線と大井町線が交差している旗の台駅で降りて下さい。

降車後は東口の改札を出て左折し、右の地図に従ってお進み下さい。



【参加者の方へ】

● 参加受付

会場（昭和大学 上條講堂）ロビーにて参加受付を下記時間帯に行います。

7月8日（日） 8：30～14:00

● 参加費

5000 円

参加費と引き換えに参加証（領収書付ネームカード）

招待者、世話人の方は、招待者受付でネームカードをお受け取りください。

● 開演時間（講演・学術発表）

7月8日（日） 9：05

【発表者の方へ】

一般演題は、一演題につき、発表 5 分（臨床研究報告 6 分）、討議 3 分で行います。各セッションの座長の指示に従ってください。

また、発表はすべて PC プレゼンテーションとなりますので、以下の要領をご確認の上、発表の 30 分前までに PC 受付へお越し下さい。

● Windows にてデータを作成された場合：データをお持ち下さい。

- ・ USB フラッシュメモリに保存してご提出下さい。
- ・ OS は Windows 7、アプリケーションは PowerPoint 2010 に対応しております。それ以外のソフトや動画の多い場合は、ご自身の PC をお持ち下さい。
- ・ フォントは OS（Windows 7）標準のもののみ用意いたします。
これ以外のフォントを使用した場合、文字・段落のずれ・文字化け・表示されない等のトラブルが発生する可能性があります、
- ・ ご用意いただく USB フラッシュメモリのウイルスチェックを事前に行って下さい。
- ・ 発表開始時刻の 30 分前までに、受付にて発表データを試写確認のうえ、ご提出下さい。 午
前の最初のセッションの時間帯では PC 受付が混雑しますので、お早めに PC 受付をお済ませ下さい。
- ・ 発表データは事務局で責任を持って消去致します。

● Macintoshにてデータを作成された場合：ご自身のPCをご持参下さい。

- ・ 必ず AC アダプターをご用意下さい。バッテリーでのご使用はトラブルの原因となります。
- ・ 動画をご利用の場合、再生できることを PC 受付にて必ずご確認ください。
- ・ 利用機種・OS・アプリケーションに制限はありませんが、D-sub15 ピンによるモニター出力が必要です。ご持参いただく PC から D-sub15 ピンへの変換コネクタが必要な場合には、各自でご用意下さい。D-sub15 ピン以外の接続はお受けできませんので予めご了承下さい。
- ・ スクリーンセーバー、ウィルスチェックならびに省電力設定は予め解除しておいて下さい。
- ・ 発表開始時刻 30 分前までに、PC 受付にて試写を行って下さい。PC 受付ならびに PC オペレーション席ではデータの修正・変更は行えません。
- ・ ご持参頂く PC に保存されている貴重なデータの損失を避けるため、必ず事前にデータのバックアップを取っておいて下さい。

一般演題 1 (1-4) 神経反射性失神

9:05-9:40

座長：河野律子 産業医科大学循環器内科

中井俊子 日本大学医学部内科学系循環器内科学分野

1. Treadmill 運動負荷試験および Isoproterenol (ISP) 点滴負荷により、突然の徐脈と血圧低下を来した 1 例

小松さやか 順天堂大学医学部循環器内科

2. 心機能低下例に合併する神経調節性失神

山口由明 富山大学大学院医学薬学研究部内科学第二

3. 神経調節性失神と転換性障害による意識消失発作を繰り返す 1 症例

高瀬凡平^{1,2} 防衛医科大学校集中治療部¹ 防衛医科大学校抗加齢血管内科²

4. 胸部大動脈瘤を有する難治性の起立性調節障害による失神の 1 例

塩澤知之 順天堂大学医学部附属静岡病院循環器科

一般演題2 (5-8) 心原性失神・薬物

9:40-10:15

座長：戸叶隆司 順天堂大学医学部附属静岡病院循環器科

鈴木 昌 慶応義塾大学医学部救急医学

5. 左冠動脈主幹部の攣縮により失神した1例

阿部芳久 秋田県成人病医療センター循環器科

6. β 遮断薬の少量内服によって運動耐容能が改善した運動誘発性房室ブロックの1例

岡田憲広 大分大学医学部附属病院循環器内科

7. 繰り返す失神の原因が発作性上室性頻拍であった1例

石口博智 山口大学医学部附属病院医学系研究科器官病態内科学

8. 失神発作を反復した dantrolene 服用中の高齢者の1例

遠藤康実 日本医科大学多摩永山病院内科・循環器内科

一般演題3 (9-11) 血行障害

10:30-10:55

座長：水牧功一 富山大学大学院医学薬学研究部内科学第二

東 祐圭 昭和大学藤が丘病院循環器内科

9. Sigmoid septum により失神前駆症状を繰り返した 1 例

若月大輔 昭和大学藤が丘病院循環器内科

10. 心房細動により閉塞性肥大型心筋症の AV sequential pacing による治療に限界を来した超高齢者の 1 例

岡崎 修 国立国際医療研究センター循環器内科

11. 頸部回旋による繰り返す失神発作で受診し Bow Hunter 症候群と診断された 1 症例

赤澤良太 都立広尾病院循環器科

一般演題 4 (12-16) 失神の診断・検査

10:55-11:40

座長：高瀬凡平 防衛医科大学校集中治療部

阿部芳久 秋田県成人病医療センター循環器科

12. 循環器病棟における一過性意識障害患者の臨床的特徴

古川俊行^{1,2} 聖マリアンナ医科大学循環器内科¹ 東京医科歯科大学循環制御内科学²

13. 当院救急外来に搬送された心原性失神患者の臨床的検討

星野哲也 順天堂大学医学部附属浦安病院救急診療科

14. 失神患者における Head up Tilt 試験と ABPM の検討

大西克実 昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門

15. ER に搬入される高齢失神患者に対する立位負荷試験

鈴木 昌 慶應義塾大学医学部救急医学

16. 失神小児における Head-up-tilt テストの有用性：Active standing test との比較

田中英高 大阪医科大学小児科学教室

失神觀察研究 (SOS-Japan) 報告

11:40-12:00

小林洋一 昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門

MEMO

特別講演 1

12:05-12:55

「冠攣縮と失神」

座長：住吉正孝 順天堂大学医学部附属練馬病院循環器内科

演者：西崎光弘 横浜南共済病院循環器センター

共催：第一三共株式会社、旭化成株式会社

MEMO

ミニシンポジウム ～ILR の有用性について～

13:00-14:00

座長：丹野 郁 昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門

野呂真人 東邦大学医療センター大橋病院循環器内科

コメンテーター：安部治彦 産業医科大学医学部不整脈先端治療学講座

基調講演「失神診断ガイドライン 2012」の解説

13:00-13:10

演者：安部治彦 産業医科大学医学部不整脈先端治療学講座

MEMO

ミニシンポジウム ～ILR の有用性について～

ILR に関する一般演題 (17-20)・討論

13:10-14:00

座長：丹野 郁 昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門

野呂真人 東邦大学医療センター大橋病院循環器内科

コメンテーター：安部治彦 産業医科大学医学部不整脈先端治療学講座

17. 植え込み型ループレコーダーで記録された高度徐脈の解析に注意を必要とし最終的に冠攣縮性狭心症と診断された一例

平原大志 自治医科大学附属さいたま医療センター循環器科

18. 失神精査目的で植え込み型ループレコーダーを植え込んだ 2 症例

久次米真吾 東邦大学医療センター大橋病院循環器内科

19. ループ心電計の有用性：心原性・非心原性失神の鑑別

真野博明 日本大学医学部内科学系循環器内科学分野

20. ILR による無症候性痙攣発作の検出で診断されたてんかんの 1 例

河野律子 産業医科大学循環器内科

特別講演 2

14:00-14:50

「Syncope Unit の有用性」

座長：小林洋一 昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門

演者：Michele Brignole Ospedali del Tigullio

共催：旭化成株式会社

MEMO